

二風谷ダム の 役割



洪水調節



流水の正常な機能の維持



水道



発電



左岸クレストゲート 下流側から見ると…



その時、上流側は…



下流から見た左岸クレストゲートです。幅11m。高さ2.5m。重さ約22t。鋼鉄製。

左岸クレストゲートは、左岸（下流を向いて立ったときの左側の岸）側の堤体の頂上にある5門のゲートです。時期によって上下します。洪水期の防災操作（洪水調節）では、水位の上昇に伴い水が越流して流れます。

非洪水期（10月～翌年6月）の水位

洪水期（7月～9月）の水位

非洪水期（10月～翌年6月）は、ゲートを下げて、越流する水位をゲートの分2.5m高めます。

洪水期（7月～9月）は…

洪水期（7月～9月）は、ゲートを上げ、貯水位を下げ、その分洪水に備えて、ダムに貯めることができる水の容量を確保しています。



オリフィスゲート



上下に動きます。



貯水池の水の中にあります

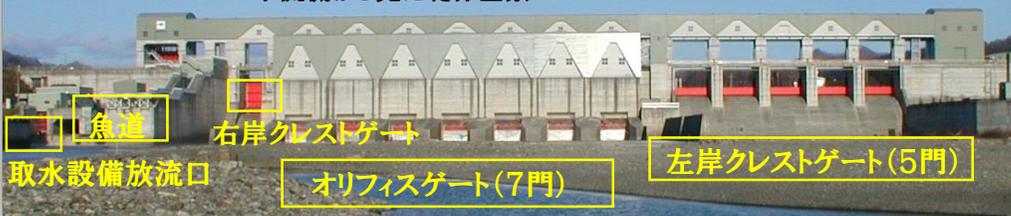
← 下流から見たオリフィスゲート。写真では閉じているので、水は流れていません。下半分には鋼板がはられています。写真では見えませんが、扉の左右にはローラーがついています。幅8m。高さ6m。重さ約93t。鋼鉄製。

オリフィスゲートは、貯水池の水の中にあるゲートで、開けると下流の方向に水が流れ出します。二風谷ダムでは、増水に対応して使われていて、7門のオリフィスゲートがあります。

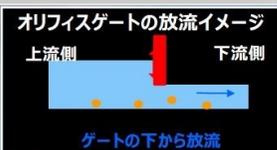
← ゲートの上部です。点検等の際固定するためのフックが左右両端にあります。油圧式シリンダで上下に動かしてゲートを開けたり閉めたりします。

二風谷ダムの構造

下流側から見た堤体全景



右岸クレストゲートは、小さな増水に対応するためのゲートで、洪水期（7月～9月）に使用しています。水を越流させるゲートで、ゲートを寝かせたり起こしたりして流量を調節します。



大雨による水害から人々を守る

近年、地球規模の気象変動により大雨等による災害が激甚化しています。平成15年8月8日から10日にかけて、台風10号は平取町旭で総雨量389mm、最大1時間雨量75mmという未曾有の豪雨をもたらしました。

二風谷ダムは防災操作開始から流入量がピークを過ぎるまで約2,330万^m（札幌ドームの容積158万^m3に換算すると約15杯分に相当）の洪水を貯め込み、最大ピーク時の洪水流量を約600^m³/秒低減し、下流の洪水被害を軽減しました。

また、5万^m³もの大量な流木を捕捉しました。そのまま下流に流れていたら、橋梁や堤防の破壊、さらには越水による大災害の可能性がありました。



二風谷ダム上流の被害
●流木により流失した橋梁

流失した箇所

全て流木



二風谷ダムの操作室

～職員のことば～

ダムでは、融雪や降雨の際、特に下流河川の安全を考えながら放流ゲートの操作を行っています。また、二風谷地区の豊かな自然や色濃く残るアイヌ文化などを体感しながら仕事ができ、やりがいを感じています。

二風谷ダム管理所 管理係員

トピックス

命を守る行動を！

令和3年5月20日から避難に関する警戒レベルが見直しとなりました。これまでの避難勧告は廃止されレベル4の避難指示に一本化されました。近年の激甚化する災害に備え、自分のところは大丈夫という思い込みを捨て、早めの避難を心がけましょう。

既に避難することが難しい場合、少しでも命が守れる行動を。

必ず避難しましょう。

高齢者や身体の不自由な方はこの時点で避難しましょう。

令和3年5月20日から
ひなんしじ
避難指示で必ず避難
ひなんかんこく
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を察知したときに発令)
4	避難指示※2	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される保証ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も避難に際し自身の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難**しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

出典元 内閣府ホームページ http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

北海道総合開発計画

～強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成～

北海道総合開発計画では、地震・津波、火山噴火、頻発・激甚化が懸念される風水害、土砂災害から暮らしと経済を守るため、国・地方公共団体を始めとした関係機関が連携して国土の強靱化を推進します(以下抜粋)。

・「人命を守る」ための体制づくり・気候変動等による水害・土砂災害リスクへの対応